

できそこない



黒犬ちわわ

神が現れて、突然言った。

「お前は役たたずだ。死んでしまいなさい。ご両親もそう願って
ることだろう」

そう言われて、確かにそうだと俺は思った。だから死ぬことに
した。今までなにひとつ親孝行できなかった。生きていても余計
に苦勞を増やすだけだ。

俺が自殺すると、父と母は、今まで俺がどんなに悲しませても
見せたことのなかった顔をして、葬式の間じゅうも、葬式のあ
とも、呆然としていた。

はたして、俺の親は喜んでくれているのだろうか。神が言った
んだから、きっと喜んでいるに違いないだろう。

俺は親孝行した気持ちになって、あの世へと昇っていった。